

経営比較分析表（平成28年度決算）

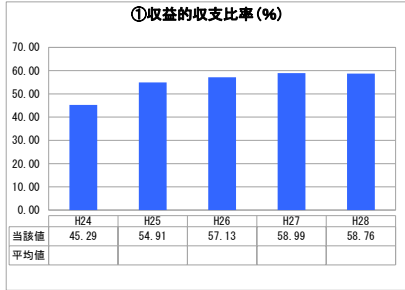
千葉県 八街市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.53	80.42	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,006	74.94	960.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
19,734	4.39	4,495.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



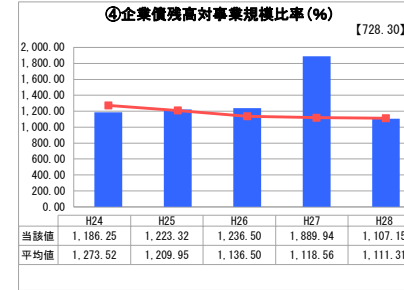
「単年度の収支」



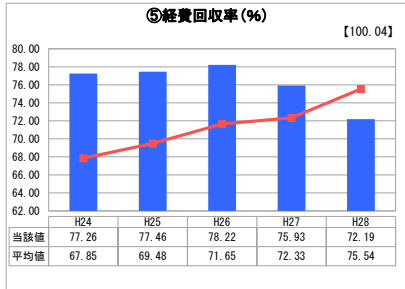
「累積欠損」



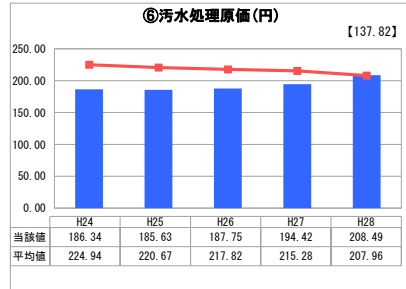
「支払能力」



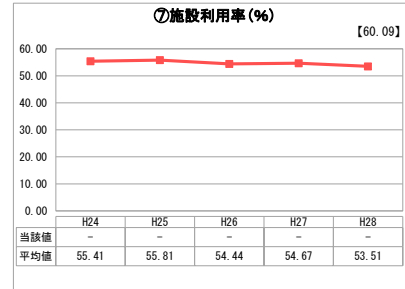
「債務残高」



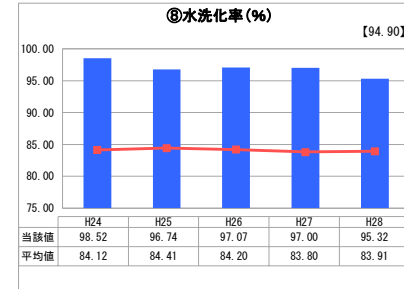
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

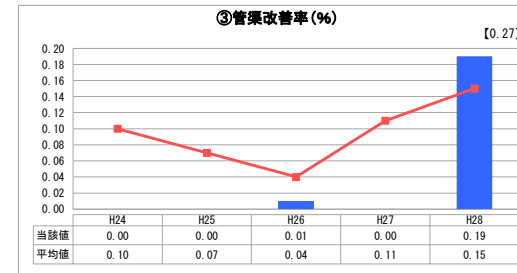
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を下回っており、総収入について、使用料以外の収入でも賄っているため、経費削減や使用料見直し等により、経営改善を図っていく必要がある。
八街市汚水適正処理構想の見直しにおいて、事業規模の適正化を図るため、全体計画を縮小しているところである。

2. 老朽化の状況について

都市計画決定区域内の整備と併せて、収益に配慮した管渠の改築更新を進めている。管渠の状況などを把握し、計画的、効率的に長寿命化に取り組んでいるところである。マンホール蓋についても、摩耗によるスリップ・転倒等の被害を未然に防ぐため、計画的に実施しているところである。今後、下水道施設ストックマネジメント計画を策定し、長期的な改築の需要見直しを定めていく。

全体総括

長期的に、施設の老朽化に伴う費用の増大が見込まれる中で、効率的な経営を行うため、企業会計への移行後、ストックマネジメント計画に基づく施設更新、使用料見直し検討等により、経営改善を図る必要がある。
起債償還については、減価償却年数との乖離を解消するために、今後も資本費平準化債により繰り延べを行っていく。また、整備された八街バイパス沿線の接続率向上に今後も努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。